（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラスさんだ教室

公表日　2024年　12月　24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・身体活動の際等は机を移動し、スペースの確保に努めている。	・倉庫は広いが職員室、面談室、クールダウンスペースが狭い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	5	・調整の可能な範囲で人員を配置している。	・職員配置に余裕がないため、個別の対応が多く求められる場面や来所児童の多い時間帯には職員の動きに限界がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・活動ごとにスケジュールを明示し確認している。必要に応じて個別に確認を行っている。	・掲示物を分かりやすいものに改善すべきである。 ・職員室の出入口や出窓、ベランダの窓等は、安全面に課題を感じるが、建物の構造の変更が難しいと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	・必要最低限のものだけ置いている。 ・清掃は可能な限り行っている。 ・活動に応じて机の配置を変更する等環境整備に努めている。	・壁紙の素材を考える必要がある。手洗いやうがいができる洗面所が別途あれば良いと感じる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	・相談室や廊下で過ごす等の対応を実施している。	・集中して学習したり静かに過ごしたりしたい児童のためのスペース確保が難しい。イヤーマフが苦手な聴覚過敏の利用者への対応が不十分に感じる。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	・ケース会議等を実施している。 ・職員ミーティング等で全職員に周知し、検討している。	・シフトの都合により参加できていない部分も有り、情報共有が不十分になることがある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・職員ミーティング等で全職員に周知し、検討している。	・保護者の意向のすべてを業務改善につなげられているか検討の余地がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・定期的なミーティングを行ったり日々の気付きはその日のうちに、他の職員に伝えるようにしている。 ・職員ミーティング等で全職員に周知し、検討している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	・本部による定期的な訪問や研修を通して評価を受け、改善に努めている。	・今後、本部以外の評価を受ける機会を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	・本部研修や外部研修に積極的に参加するよう努めている。 ・時間の制約があるが、可能な範囲で実施している。	・日々の療育に必要な内容で、研修に参加できる機会がもっとあれば良いと感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	2	・ホームページにて公表している。	（アンケート実施時には未公表であったため、現在は改善。）
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	・利用者に対するアセスメントや利用日ごとの振り返りを通して利用者のニーズを把握するよう努めている。 ・利用者向けの面談を実施している。	・統一化されたツールを利用しても良いのではないかと感じる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・計画を更新する際に会議を行い、現場で直接かかわる職員の意見も反映される。日々の支援の振り返りを行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	1	・個別支援計画は常に確認できる。 ・計画や支援目標、支援の手立ての共有を行っている。	・個別支援計画の更新があった場合、すぐ共有できないことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・アセスメントシートや職員感の情報共有で確認に努めている。	・統一化されたツールを利用しても良いのではないかと感じる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	・ガイドラインを踏まえた支援内容の設定に努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・テーマは週ごとに設定されている。イベントは職員間で話し合い、アイディアを出し合っている。 ・適宜ミーティング等で意見交換を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・利用者の年齢や興味に応じて活動を考案している。 ・職員間でアイディアを出し合っている。 ・週ごとにテーマが設けられており、固定はされていないと感じる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	・自立に向けて個別の課題を用意している。 ・個別活動は時間や環境が限定された範囲ならできているのではないかと感じる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	・始業前にミーティングを実施し、確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8	1	・利用者が降所した後に振り返りを行っている。当日実施できなかった場合は、後日実施している。 ・支援日誌を記入しながら様子等を共有している。	・利用者が遅い時間まで在所している日には当日中にできていないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	・支援日誌は必ず記入している。可能な限り詳細な記録をとるよう努めている。 ・パート職員もパソコン入力に取り組みたいが、時間的に難しいため必要事項は伝言し、分担している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・職員間で情報共有を行いながら、見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0		・地域交流の機会があまり設定できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・自由な発想を取り入れられる課題の設定ができるよう、活動内容を検討している。 ・個別支援計画作成の際、意見を聞き反映している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・よく理解している者が参加し、さらに参加する職員は他の職員に意見等を聞いてから参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・様々な機関との連携を図っている。	・連携して支援する体制はあると思うが、今以上に活用できる見込みがある。 ・保健、医療、保育の関係機関とは連携の機会が少ない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	・必要に応じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	6	・就学前の様子は相談支援専門員や保護者に尋ねている。	・就学前に関してはあまりフォローできていないと感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	・情報提供にはいつでも応じられるように努めている。	・求められれば提供は可能であるが、要望がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・児童発達支援センターには児童発達支援管理責任者から相談している。	・もう少し研修や助言を受ける機会を増やしたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		・保護者や利用者から要望がないが、ニーズに応じて検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	・子どもネット、施設団体連絡会に参加している。	・子どもネットには参加しており、相談支援専門員を通じて自立支援協議会との連携が可能になっているが、三田市の実態として直接的に参加することが現在は難しい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時、面談時や月次短信等にて報告している。 ・適宜連絡をとっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	・外部研修の情報提供は行っている。	・家族の関りは重要だと感じており、家族参加できる活動や保護者向けの研修等を今後検討したい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・初期契約時や面談時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・面談や日々の支援の中で利用者の意向を確認している。面談等を通じて保護者の意向を確認している。	・保護者と利用者の意向に相違のある場合も多々見られる。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・個別支援計画には保護者の同意を必ず得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・面談以外の機会でも、随時相談を受け付けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	・保護者会は現在、開催していない。	・保護者や利用者のニーズに応じて開催を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・体制整備も行い、対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・月報等を通じて情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・視覚支援ツールやカードなどを使用し、配慮している。 ・必要に応じて、利用者の特性に配慮した支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	・活動状況等を鑑み、地域行事の参加は実施することもある。	・地域住民との交流の機会等の設定を検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・エントランスにて公開している。 ・マニュアルの策定と訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	・月1回以上の避難訓練を行っている。 ・計画の策定と訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	2	・「緊急連絡カード」の更新を兼ねて、年1回必ず確認を実施している。	・職員間での情報共有を実施しているが、重要事項はもれなく把握できるような管理体制を強化する必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・対応できるようにしている。現在、食事提供は基本的に実施していない。 ・「緊急連絡カード」の更新を兼ねて、年1回必ず確認を実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画はエントランスにて公開している。 ・計画の作成、研修、訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9	0	・エントランスにて公開している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・事故防止委員会の設置・運営を行っている。 ・ヒヤリハットや事故報告書の回覧、対策会議を定期的に実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・新入職者の研修に加えて、全ての職員へ毎年研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	・段階を踏んで会議し、身体拘束の実施の場合は保護者に説明を行う等必要な手順に沿って実施している。 ・適宜、ケース検討やミーティングを通して対応を検討している。	